

# 県P連だより 際だまり No.75

## 令和6年度日本PTA年次表彰式

～令和6年11月15日(金)ホテルニューオータニ(東京)にて～  
 PTA活動推進にあたり、顕著な功績を挙げられた全国の団体及び個人を表彰する「令和6年度 日本PTA年次表彰式」が、東京のホテルニューオータニで開催されました。  
 表彰された団体や個人の皆様、本当におめでとうございました。  
 広島県からの表彰団体・個人は次のとおりです。



## おめでとうございます!

日本PTA会長表彰(個人)

橋本 和博 立石 稔

日本PTA会長表彰(団体)

福山市立南小学校PTA  
福山市立中央中学校PTA

## 岩本会長のコラム

新年を迎え、新たな気持ちで子どもたちのために活動をしていきたいと思っています。昨年は皆さまのご協力のおかげで、研修会や研究大会などの活動を無事終了することができました。また、新たな試みとして一人分の会費の見える化に取り組んでおります。他にも尾道市PTA連合会のご協力のもと、子どもたちを劇団四季に招待し観劇してもらい、たくさんの笑顔を見ることができました。そして広報紙「陽だまり」には各都市PTAの会長名や会員数を含めたPRを掲載しました。今年もしっかりと役割を果たし、子どもたちのために何ができるのか、会員の皆様へもっと魅力のある団体になり、新たなイベントや活動を企画し、皆さまと共にもっと良い団体であるよう築いていく所存です。  
 引き続き、皆さまのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
 皆さまにとって素晴らしい一年となりますように。

## 広島県教育委員会との意見交換会

例年行われている広島県教育委員会と広島県PTA連合会との意見交換会が12月3日に広島県教育委員会教育長室で行われました。

本会には、広島県教育委員会から篠田教育長様、重森乳幼児教育・生涯学習担当部長(兼)参与様をはじめ各課課長様等がご出席くださいました。県P連からは岩本会長他7名が参加いたしました。最初に岩本会長から篠田教育長様に「意見交換項目」一覧が手渡され、各課からの回答をいただきました。

教職員の適正な配置と教員不足の解消については、現状としてなかなか人材確保が難しい状況ではあるが、退職者や大学生など幅広く働きかけを行っているなど、今後も精一杯取り組むとの説明がありました。

不登校児童・生徒に対する措置強化については、全体的にSSRなどの取組を充実させながら取り組んでいくと説明がありました。

部活動の地域移行については、働き方改革との関連でも説明があり、働き方改革は「子どもたちにより良い授業をしてもらうため」であること、地域移行も現時点ではいろいろな問題が出てきているが、それを一つ一つ解決しながら着実に進めていきたい、まさに「子どもたちのために」という説明がありました。

※意見交流の概略まとめについては、各都市PTA連合会に送っていますので、そちらに問い合わせてください。



▲篠田智志教育長(左)と岩本義樹会長(右)

## 広島県教育委員会コラム

### クロダイと和食文化

全国各地で獲れるクロダイ。瀬戸内海は、川から豊富な栄養素が流れ込む豊かな海であることから、クロダイについても全国有数の漁獲量を誇っています。また、クロダイは海だけではなく、河口などにも生息しているため、普段から見かける機会も多いのではないのでしょうか。そんなクロダイには、広島県で親しまれている呼び名があります。それは次のうちどれでしょう? ①.チヌ ②.ケイズ ③.カワダイ ④.こちはら。令和6年度「ひろしま給食推進プロジェクト」で作成した食育教材動画「クロダイと和食文化」に登場するクイズの1つです。今年度の食育教材動画は、アニメーションで作成し、クイズや漁師さんへのインタビュー、クロダイにまつわる和食文化など盛りだくさんの内容となっています。食育教材動画は、ひろしま給食推進プロジェクトのホームページから視聴できるので、ぜひクイズの正解を確認してみてくださいね。同ホームページには、「ひろしま給食」100万食統一メニュー「広島食材で頭が良くなり脳みし!!」のレシピ動画も掲載しています。こちらのメニューは、脳の発達や活性化を促す効果があるDHA(ドコサヘキサエン酸)が豊富に含まれたクロダイと、ビタミンや食物繊維が豊富で、乳酸菌による整腸作用が期待できる広島菜漬等を使用した、栄養たっぷりの鯛めしです。レシピ動画を撮影する際に試食をしましたが、クロダイの旨味と広島菜漬の歯切れのよい食感を味わうことができ、とても美味しかったです。その他にも、刺身や塩焼き、から揚げ、煮つけなど、色々な和食でクロダイを美味しく食べることができます。レシピ動画もぜひお子様と一緒に視聴していただき、実際に作って食べることで、和食文化について考えるきっかけにいただければと思います。



■広島県教育委員会「ひろしま給食推進プロジェクト」ホームページ

(https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/juten-kyusyokusuisin.html)

### 本を読んで健康に

文化庁が令和6年9月17日に公表した令和5年度「国語に関する世論調査」で、月に1冊も本を読まない人が6割を超えていることが明らかになりました。その調査では、約7割が以前に比べて読書量が減っていると答えています。

読書による効果については、過去の本コラムでも、「語彙力、文章力が養われる」、「教養や知識が身に付く」などを紹介しましたが、健康面でも様々なメリットをもたらします。

まずは、ストレスを解消する効果です。イギリスのサセックス大学で行われた研究によると、読書によって軽減されるストレスレベルは68%で、音楽鑑賞61%、お茶・コーヒー54%、散歩42%、ゲーム21%と比較して最も高いという結果が得られたそうです。実際に海外では、読書療法が行われている国もあります。また、アメリカのイェール大学の研究では、本を読まない人に比べ、週に3.5時間以上本を読む人は寿命が23%長く、3.5時間に満たない場合でも17%長いことが分かりました。認知機能に良い影響をもたらせることが要因と推測されており、本を読まない人より約2年長生きするそうです。その他、就寝前の読書による睡眠の質の上昇など様々な効果があるとされています。

私は外出の際は、できるだけ本を持ち出し、待ち時間などあれば本を開くようにしています。紙に触れながら、静止した活字に没頭するのは、何事にも代えがたい一時です。

仕事・家事・育児などの忙しい日々、少しの読書が癒しをもたらしてくれるかもしれません。

〈参考文献〉「読む葉」五十嵐良雄(著) 日本読書療法学会(監修) アーチーメント出版(2019)

広島県教育委員会生涯学習課 石田 巧

### 充実の補償で お子様を サポートします

●誤って他人のものを壊したり、他人にケガをさせてしまったら…  
(加害事故の補償)

職場体験等に起因する  
法律上の賠償責任も  
対象になります。

### ●授業中やクラブ活動など、校内外を問わず発生する急激かつ偶然な外来の事故によるケガや病気の補償

\*病気入院補償はH・W2・W1プランのみ対象です。

### ●学校管理下中の学用品・身の回り品などの補償

●育英費用(H・W2・W1・Aプラン)等

## 充実の補償でお子様をサポートします。

# 広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度

小・中学生総合保障制度は団体総合生活保険のベトナムです。この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず広島県PTA連合会ホームページに掲載の「重要事項説明書」をよくお読み下さい。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独個別に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

令和7年3月作成 24TC-007481

引受幹事保険会社

## 東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：株式会社東京海上日動パートナーズ中国四国  
 保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島支社

TEL：0120-018-217  
TEL：082-511-9194

共同引受保険会社

## あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

パンフレットは左記「お問合せ先」にご請求下さい。

# 大会特集

## 令和6年8月23日・24日 第72回日本PTA 全国研究大会川崎大会

全国大会は通常、1日目に各会場で分科会が開催され、2日目に参加者全員が集まり全体会が開催されますが、川崎大会では2日間とも同じ会場に全員が集まり、講演を聞きディスカッションする新しい形での大会でした。開始前はどのような大会になるのか想像がつかず不安でしたが、初めて会う全国の会員の方々と意見交換だけでなく、悩みを相談したり、活動の工夫など色々な話を聞くことができ、とても新鮮で有意義な時間となりました。

川崎大会は、大会当日だけでなくオンラインでの前夜祭や後夜祭もあり、予習・復習ができ、何より現代のやり方に即していると感じました。全てが新鮮でありながら、堅いものではなく、楽しみ、考えながら参加できました。

ウェルビーイングの実現のテーマを元にこのような参加型の大会となったと実行委員の方から伺いました。ウェルビーイング、つまり良い状態、心身ともに満たされた状態を表す概念です。

広島からの参加は遠方で疲れもありましたが、充実した2日間でした。子どもたちの笑顔のために大人の私たちができること、子どもたちと一緒にできることは何かを考え、活動できたらと思います。今大会での「ありのまま、ありがとうの心で、何でもやってみよう、何とかできるよ」の4つの幸福因子を胸にとめ、子どもたちと楽しく活動していきたいです。

次期開催地は石川県です。地震、豪雨と半年間に2度被災されながらも大会に向け準備されています。皆さまで参加し石川県の復興の手立てのひとつとなればと思います。たくさんの魅力もある石川県です。たくさんのご参加をお待ちしております。



石川大会実行委員長 宇田会長より

能登地方を震源とする令和6年能登半島地震の発災直後より、全国の皆さまから、温かい励ましをいただきました。改めて御礼申し上げます。この状況下で全国大会を開催すべきか、開催できるのか悩み、議論を重ねました。その議論の中で、日常を取り戻すためにはまず子供の生活リズムを取り戻さなければいけない。そのためにPTAは大きな力を果たさなければならないという声に、大いに勇気づけられました。復旧・復興の途上ではありますが、私たちは全国大会を開催することを決めました。

私たち石川県PTA連合会は、子供のために持続可能(=サステナブル: Sustainable)な未来を描きたい、そしてよりよい社会と幸福な人生を子供が自ら創り出していけるように、家庭、学校、地域の橋渡しとなりたい、そのためにPTAはなくてはならないものと考えています。

今、PTAの存在意義が改めて問われています。石川大会は、「サステナブルな未来づくりのために～創造と協働を石川から～」を大会スローガンとし、8つの分科会と全体会での学びを通して、改めてPTA活動の意義を見つめ直したいと考えています。

十分な準備ができないこともあるかとは思いますが、精いっぱい努めて参ります。ご来県をお待ちしております。

広島県PTA連合会の年間行事計画では、毎年日本PTA全国研究大会、中国ブロック研究大会、広島県PTA研究大会の3つの大きな大会が組まれています。毎年この大会にも県内多くの会員の皆さまにも参加していただき交流を深めています。今年度の大会の様子をまとめてみました。それぞれの大会を覗いてみましょう!

## 川崎大会

第72回日本PTA全国研究大会  
第56回関東ブロック研究大会

大会スローガン  
ウェルビーイングの実現を、

川崎の地から  
～活かそう「縁」の力～

川崎大会実行委員長  
浦山利博 様より

令和6年8月23日と24日の2日間に渡り、第72回日本PTA全国研究大会・第56回関東ブロック研究大会川崎大会を開催いたしました。皆様のご参加とご支援、および、素晴らしい先生方と川崎市ならびに実行委員の方々に深く感謝申し上げます。

本大会は、「ウェルビーイングの実現を、川崎の地から～活かそう「縁」の力～」のスローガンのもと、家庭・学校・地域とPTAの縁が紡ぐ道を通じて、ウェルビーイングを社会に広げることが掲げられました。そのため、参加者全員が共に学べる一会場開催、全周囲と受発信が出来る中央ステージ、只聴きだけでなく参加者間のディスカッション、多くの現職教職員のご参加、そして自分事としての個人宣言など、新しい形を取り入れました。併せてDX活用等によるコスト低減にも配慮いたしました。お陰様で、たくさんのご好評とそれぞれの行動に繋がることが出来、改めて全国大会の意義を噛み締めています。私たちの活力源は何にもまして子供たちの笑顔です。子供たちの喜びもまた大人の笑顔でしょう。常にこの原点を忘れず、学んだ4つの幸福因子「ありのまま、ありがとうの心で、何でもやってみよう、何とかできるよ～」を、一緒に実践して、子供たちが、明るく生きる強い力と公德心に満ち溢れ、それぞれの道や方法で社会に羽ばたくことを支えて参りたいと存じます。





### 令和6年11月2日 第54回日本PTA中国ブロック 研究大会やまぐち大会

山口県PTA連合会より

令和6年11月2日(土)第54回日本PTA中国ブロック研究大会やまぐち大会が開催されました。当日は、熱帯低気圧の影響により各地で大雨となり公共交通機関への影響が出ているなか、KDDI維新ホールやオンラインにて多くの参加がありました。

大会スローガンは「つむぐ～未来(これから)の大人たちへ」  
コミュニティスクールの取り組みが進み、PTA活動も学校単位に留まらず、地域や家庭が一体となった取り組みの実践発表・記念講演など、未来の大人たちへ、今の大人たちの思いを紡ぐため学びの多い大会となりました。

【スタッフの声】  
初めての経験で戸惑うことも多々ありましたが、他校のPTA会員の皆さんと協力して無事に終えることができました。本番までの準備期間では交流を深めながら、時にはPTAについて議論もあり、やまぐち大会をきっかけに、これからの山口県PTA連合会に良い影響を与えてくれたと感じています。スタッフとして携わることができ、とても貴重な経験ができました。本当に良かったです。



当日は、朝から警報が出る大雨で開催が危ぶまれましたが午後からは天気回復し定刻通りに開始されました。ただ公共交通機関に影響が出ており、記念講演での講師であるゴルゴ松本さんの到着が遅れることとなり、急遽、中国ブロック協議会の各会長によるトークセッションとなり、協議会内の活動の様子を楽しくお話しいただきました。

その後ゴルゴ松本さん到着の情報が入ると、荷物そのまま元気いっぴいのゴルゴさんが登場されました。そしてすぐに講演。「命の授業」の通り意味深く心に響く講演でした。漢字ひとつひとつには意味があることを知りました。子どもと一緒に聞きたい講演でした。

次期開催地は広島市です。「いじめ」をテーマにチャットを活用したリアルタイムでの意見交換が予定されています。いじめは身近な問題のひとつ。どなたでも参加できる新しい形の大会です。ご参加をお待ちしております。

令和7年度次期開催地は広島市です!

広島市PTA協議会より

令和7年8月2日(土)、広島市PTA協議会主催の「第55回 日本PTA中国ブロック研究大会 広島市大会」が開催されます。今年のテーマは「いじめ防止プロジェクト」です。これは広島市PTA協議会が平成25年から続けている事業で、子どもたちの安心・安全な学びの環境を守るための重要な取り組みです。いじめを未然に防ぐには、保護者、教員、地域が協力し、共に考えることが大切です。本大会では「つなげる心」をスローガンに掲げ、子どもたちを主役とし、大人と子どもが意見を交換しながら未来を考える場を作ります。

当日はチャット機能を活用したリアルタイムでの意見交換が行われ、寄せられた意見はスクリーンに即時掲載されます。このようなインタラクティブな取り組みを通じ、全員でいじめ防止の意識を深めます。また、広島市内の学校の活動発表や展示ブース、アクティビティも予定しています。

さらに、上越教育大学大学院の高橋知己教授による解説や具体的な事例を通じて、いじめ防止への理解をより深めます。本大会は、児童生徒、保護者、教員、地域団体など、いじめ防止に関心のあるすべての方が対象です。

・会場:広島グリーンアリーナ小アリーナ ・オンライン参加も可能 ・参加費:無料(事前申し込みが必要)  
詳しくは広島市PTA協議会のホームページ(4月16日掲載予定)をご確認ください。  
広島市PTA協議会の取り組みを活かし、保護者、教員、地域、そして子どもたち自身が意見を出し合い、一緒に未来を考える場としてぜひ活用ください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております!



### 令和6年12月7日 第50回広島県PTA研究大会

令和6年12月7日、第50回広島県PTA研究大会が開催されました。来賓の皆さまと多数の会員の皆さまのご参加により盛大な大会開催となりました。

「楽しい子育てキャンペーン」三行詩表彰式、また庄原市PTA連合会・呉市立阿賀小学校の実践発表の後、記念講演として講師に石川千明先生をお招きし、「スマホ時代の子どもたちに大人ができること～地域・家庭でのルールづくりと子どもが安心できる声かけ～」と題して講演いただきました。子どもたちも、当たり前のようにスマホを持っている時代、様々な場面で知らない間に被害者にも加害者にもなります。石川先生は、例を出しながら子どもたちにも分かりやすい説明でスマホの危険性を教えてくださいました。

小学生の時は手を離さない・中学生の時は目を離さない・高校生の時は心を離さない…まさにその通りだと思いました。スマホ時代の今、大人も子どももお互いのコミュニケーションの時間は少なく、「画面」とコミュニケーションの時間が増えています。1日の間で少しでも、大人も子どももスマホを置き、目と目を合わせてゆっくりコミュニケーションを取ることも大切だと感じました。

県内の多くの会員の皆さまのご参加、またWEBでも多くの会員の皆さまにご視聴いただきましてありがとうございました。

### 大会スローガン 変化の時代だからこそ 「いま、ここ」に根を張り 花を咲かせ 子と歩もう

記念講演  
スマホ時代の子どもたちに  
大人ができること

～地域・家庭でのルールづくりと  
子どもが安心できる声かけ～



石川 千明氏

NPO法人 奈良地域の学び推進機構 理事  
公益財団法人 人権教育啓発推進センター 特任講師

## 令和6年11月23日 広島県PTA連合会体験事業

今年度、日本PTA国際交流・国内研修事業が中止となりました。楽しみにしていた子どもたちのために、県PTA連合会として何かできることはないか悩み考え、広島県PTA連合会体験事業として、劇団四季「CATS」へ招待することとなりました。もともとこの劇団四季「CATS」観劇は尾道市PTA連合会が尾道市の子どもたちを招待する企画でしたが、尾道市PTA連合会ご協力のもと、県内の10名の子どもたちを招待することができました。

当日は、皆で写真を撮り、自己紹介などをした後、会場へ。  
劇中は、子どもたちも食い入るように集中し、鑑賞していました。また、場面ごとに驚いたり、色々な表情をたくさん見せてくれました。皆、最後までしっかり鑑賞していました!



写真:劇団四季HPより

### 参加した子どもたちの 感想文を紹介します!

歌のはく力がすごくてあつうされました。いろいろな演出にびっくりしたり、わくわくしました。見れてよかったです。

最初は、どんな物語だろう...とっていました。会場にはいったしゆん間、ぶたいたがみだらでびっくりしました。でも、見てみると色々なねができてうしろからでもはくりよくあつてたのしかったです。  
わたしの好きなキャラは「グリトルボーン」がとてもかわいいキャラだと思いました。かべからでてくるのも、あそこからでてくることを知らなかったのでわくわくしました。バストファーージョーズも好きでぶつとて好きです。  
またみたいです。

わたしはキャッツを見て感心しました。理由は、メイクがかつよくて、楽しく、もり上がった場面もあったし、悲しく、暗い場面もあり、しょうげきてきだったからです。  
楽しかった所は、音楽の大きさやリズムにのつた所、ダンスがきれいだった所です。  
悲しかった所は、歌の歌い方やスポットライトの当て方、声のトーンなどです。  
わたしがもし、サーカスなどに、出ることになったら、キャッツをまねてみたいです。

## 劇団四季 CATS

ま	し	る	が	在	を	た	が	分	私
れ	た	C	り	を	込	け	り	の	思
た	A	T	ガ	認	め	ど	ガ	は	心
	今	T	バ	ゆ	て	か	ベ	い	こ
	回	S	う	め	歌	最	う	を	A
	は	の	ク	も	っ	後	は	低	T
	招	婦	見	ら	た	x	展	え	S
	得	た	い	う	お	モ	初	る	ま
	い	ち	を	こ	か	り	こ	見	え
	た	の	認	と	け	い	他	と	て
	だ	優	め	が	で	と	の	の	大
	さ	い	び	で	い	い	猫	犬	優
	あ	い	仲	を	他	う	た	切	レ
	り	ハ	間	ま	り	歌	ち	さ	い
	が	に	に	し	插	に	を	ハ	と
	と	も	入	た	に	自	嫌	学	と
	う	感	れ	。	自	分	わ	か	相
	ご	動	て	ま	分	の	れ	ま	手
	ざ	し	あ	た	の	飛	て	し	に
	い	ま	ひ	。	存	い	い	た	自

率	新	以	わ	見	ダ	と	人	私
先	も	し	外	ア	ン	て	間	は
し	今	い	の	テ	い	ス	な	キ
て	参	回	人	手	き	入	の	ソ
加	の	と	と	し	を	て	上	リ
し	よ	の	も	た	引	か	ま	手
て	う	開	。	き	け	し	に	鑑
い	な	わ	開	み	込	る	た	賞
き	こ	り	わ	し	む	こ	の	し
た	と	は	る	て	よ	と	を	特
い	が	と	こ	自	な	く	し	徴
な	次	も	が	分	美	見	と	源
ご	回	も	新	テ	全	い	と	じ
思	い	あ	鮮	き	空	し	七	音
ま	る	な	ま	校	魅	融	と	歌
し	な	体	し	た	力	合	い	人
た	ら	験	た	地	が	し	て	達
。	ば	。	域	何	、	と	が	。



### 尾道市PTA連合会の皆さま 本当にありがとうございました!

すごく、人間が本物の猫になっているように感じた。はじまった時に猫の目が光った時、「なにが始まる?」と感じ、そこに猫が出てきてびっくりしました。  
猫が歌っているとき、すごい音量が出ていて、すごいきれいな歌声でいいなと思いました。

今日私は、初めてCATSを見に行きました。一番最初に思ったことは、めっちゃ体がやわらかくてすごいなと思いました。女性の方の歌がめっちゃ声のトーンが高く「なんであんな声かだせるんじやろ」と思いました。CATSのみなさんは出番がとっても多くて大変そうでした。でも、休むことなく踊り続けたり歌い続けたりして一生懸命で本当に尊敬しました。最後のCATSのみなさん面白かったです。またCATSに行きたいです。



私は11月23日にCATSを見にいきました。そこで学んだことを2つ紹介します。  
1つ目は、積極的に相手と仲よくなることです。CATSに行く時はバスで移動します。私はとりに座っている女の子に話したいのになかなか話しかけれませんでした。しかし、女の子のほうから話しかけてくれたので私はホッとしながらたくさん話しているうちに相手の意外な一面が見えたりもしました。私と話した女の子は、カエルを10びきもかっていたり、いつも家族とゲームをするのがにっかだったりと、びっくりしました。相手と仲よくなるってこんなに楽しいのだなあと、自分から積極的に話しかければよかったなとこういもしました。だから、1つ目に学んだことは積極的に仲よくなるということです。

2つ目は、げきのすばらしさです。今回はCATSに行きました。小学校生活では、コロナがはやっていたので運動会や学習発表会、ええじゃんさんさがりなどさまざまな行事がコロナによって中止されました。だからCATSを見て大きな思い出を作りたいと思おうほしました。実際に見に行くととてもすごくて感動しました。そこでCATSを見て気づいたことがあります。1つ目は小物の工夫です。CATSではたぶんゴミやがらくたをテーマにしています。ここに置いてあった小物がこんなところに使われるんだや、わざと小物を落とすことでねこの本能を見せているんだや、広島でCATSをやっているからMIKASAのボールがあったりカープのぼうしがあったりとたくさん工夫してておもしろかったです。2つ目は演技力です。歌声はとってもきれいでみんな口をあけてずーと見ていました。しかも、歌っていないねこを見るとラブラブなねこがいたりパンチあってケンカをしたり、ねころがっているねこがいたりしているのと目ははなせなかったです。こんなふうにかくさんの工夫がありお客さんをよるこぼせるぞという強い気持ちを感じて良かったです。

家に帰るとCATSの話でもちりでした。CATSの話をするといついつい笑顔になってしまいます。夢にも出てきてくれました。毎日のようにまた行きたいと思っています。それくらい感動しました。この感動は大人になってもらえなくていいです。

私が学んだことは、積極的に相手と仲よくなること、げきのすばらしさです。とても良い思い出になりました。学んだことを友達に言ってみたり、これからの学校生活にも役立てたいと思います。市PTA連のみなさん、クラウドファンディングをしてくださったみなさん、本当にありがとうございました。

※すべての感想文をそのまま掲載させていただきかかったのですが、スペースに限りがあるため、一部の感想文のみとなりますことをご了承ください。